

経営比較分析表（平成28年度決算）

千葉県 袖ヶ浦市

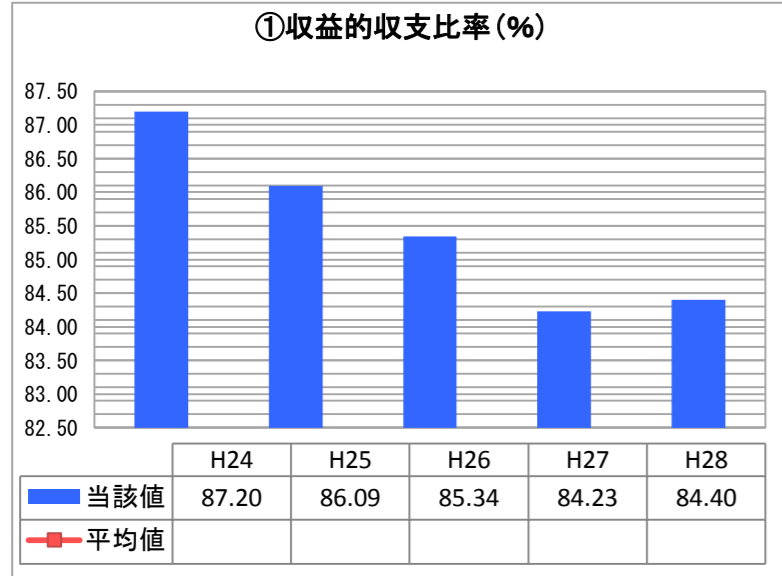
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.30	100.57	2,301

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,306	94.93	656.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,556	1.98	2,301.01

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



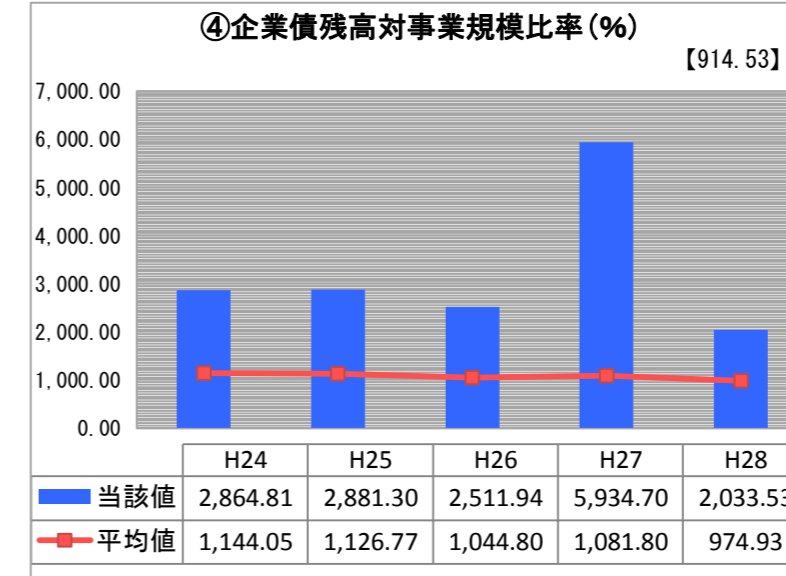
「単年度の収支」



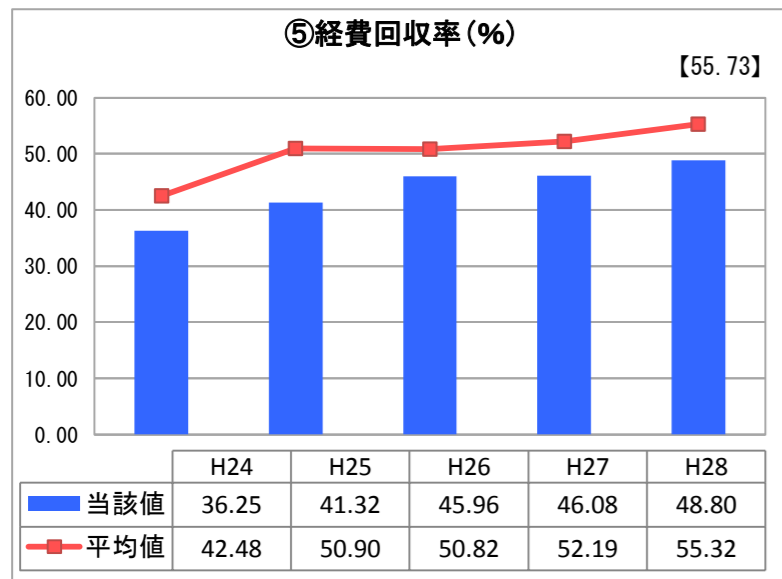
「累積欠損」



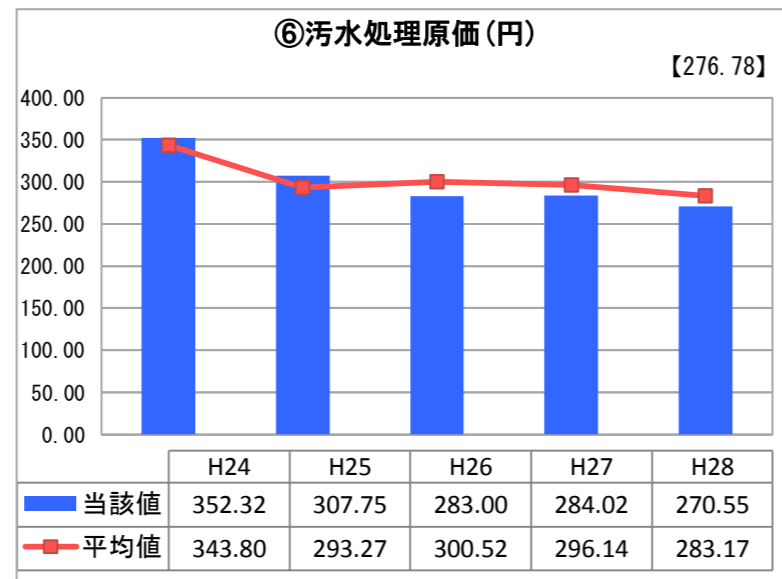
「支払能力」



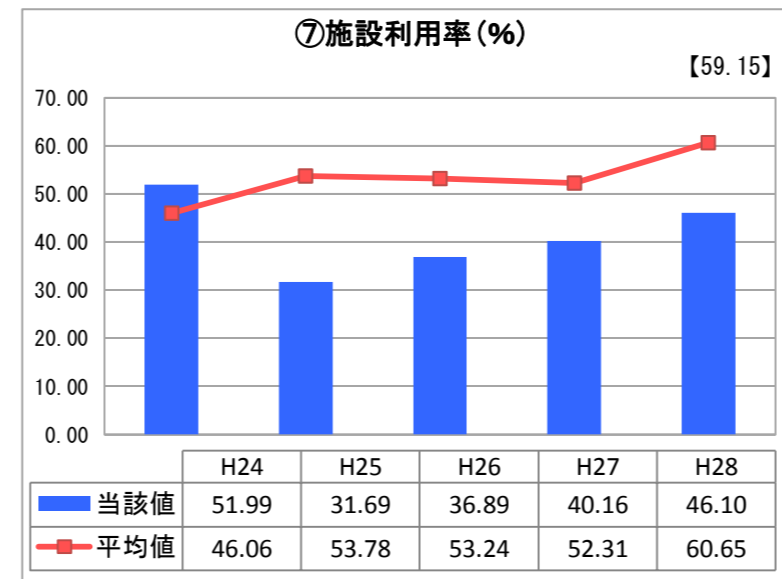
「債務残高」



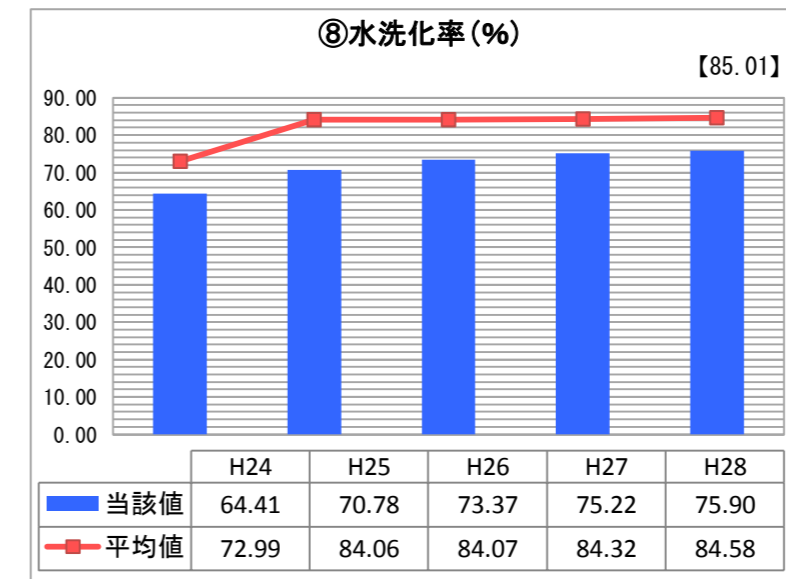
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

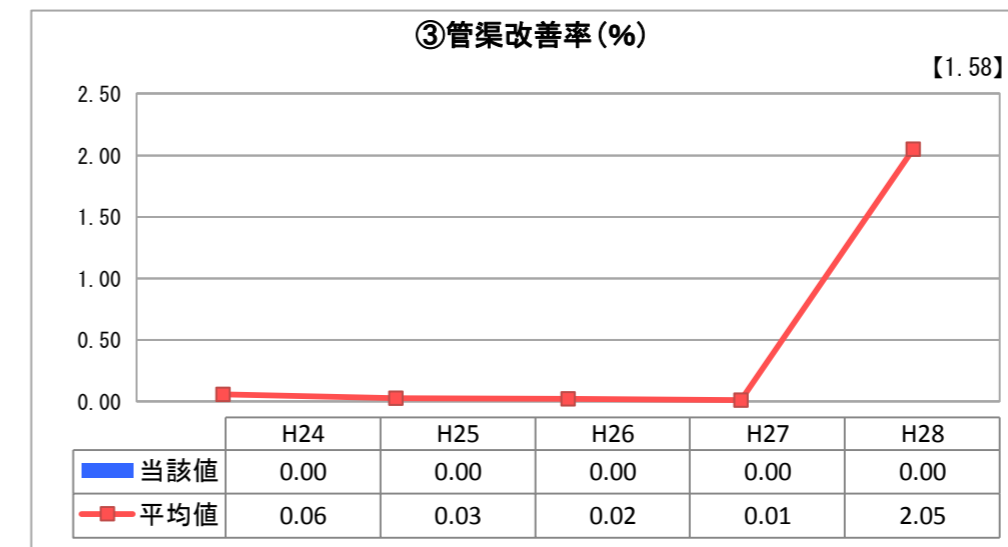
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

袖ヶ浦市の農業集落排水事業は、平成10年から袖ヶ浦東部地区、平成15年から松川地区、平成24年から平岡地区が供用開始しており、計3地区となっております。

収益的収支比率及び企業債残高対事業規模比率の数値は、平岡地区の整備工事のため一時的に悪化しておりますが、平成27年度をもって平岡地区の整備工事が終了したため、平成28年度については改善傾向にあります。

経費回収率及び施設利用率については、平岡地区の供用開始によって一時的に数値が悪化していますが、水洗化率の向上に伴い改善に向かっていくため、今後も水洗化率上昇のため取り組んでいきます。

汚水処理原価については、類似団体とほぼ同じ数値であるものの、依然として高い水準にあるため、料金収入の確保を図るとともに、維持管理費等の更なる縮減を図っていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

袖ヶ浦市の農業集落排水施設は平成10年から供用を開始しているため、老朽化は進んでいませんが、今後、処理場や管渠の計画的な更新を図っていく必要があります。

全体総括

農業集落排水事業の特性上、経費回収率が低く、汚水処理原価が高くなっており、料金改定の検討や維持管理費等の更なる縮減を図っていく必要があります。また、設備の計画的な更新を踏まえた上で、効率的な施設維持管理を行っていく必要があります。

料金改定については、公営企業法適用業務の中で経営戦略の策定を行い、適正料金について検討していきます。

また、平成28年度より処理施設の包括的維持管理委託を行うことで、維持管理費等の更なる縮減や効率的な施設維持管理を図っています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。